

2026年6月15日  
カップ・クリエイト株式会社

## 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社のガバナンスおよび取締役会の実効性をさらに高めるため、当社取締役会の実効性の評価を行いましたので、その結果の概要をお知らせ致します。

### 1. 評価の方法

当社では、定時の取締役会の評価のため、2026年3月期の取締役会の実効性の分析・評価を行いました。具体的なプロセスは、取締役会の規模・構成・多様性、取締役会・指名報酬諮問委員会の運営、社外取締役に対する情報提供等の項目を中心に質問形式によるアンケート調査を実施致しました。

### 2. 取締役会の実効性に関する評価結果の概要

集計結果を踏まえた上で分析・評価をした結果、当社取締役会の実効性は確保されているとの評価を致しました。個別内容につきましては以下になります。

取締役会の規模・構成については適切であり、取締役会がその役割と責務を果たすための必要なスキル・経験を備えているとの評価でした。

一方で、リーダーシップの実効性においては、企業戦略の方向性や行動規範の浸透に関して相対的に課題が見られ、サステナビリティへの取り組みを含め、短期視点に寄りすぎない中長期視点での経営判断の強化や、企業文化・価値観の更なる浸透が必要であるとの認識が示されました。

また、株主・ステークホルダーへの対応の実効性においては、対話体制の整備、質の高い対話と意見のフィードバック、ならびに対話を通じて把握した株主意見の取締役会へのフィードバックの更なる強化、非財務情報を含む開示情報や中長期成長性の理解度を高める開示情報の充実が必要であるとの認識が示されました。

取締役会の運営においては、社外取締役が適切に意見・助言等を行える状況であり、審議時間も十分に確保されるなど、建設的な議論・意見交換の環境は概ね整備されております。一方で、さらなる議論の深耕に向けては、取締役会資料配布時期の適正化や内容の充実等について改善の余地があるとの認識が示されました。

取締役会を支える体制については、内部統制やリスク管理、監査環境の整備は適切に機能しているとの認識が示されるとともに、社外取締役と執行部門との意見交換や情報提供も一定程度なされていると評価されました。

### 3. 今後の対応

当社取締役会は、本評価結果を踏まえ、取締役会の実効性の更なる向上を図るため、評価プロセスを通して認識した課題に取り組むことで、取締役会の実効性をより一層向上させてまいります。

以上